



との言葉をお伝えいただいた。  
 ☆叙勲者挨拶

四名が出席された。田嶋氏は先輩への感謝を、飛田氏は退職後のバイタリテイ溢れる生活を、深澤氏は得意の英語で、木島氏は健康維持の呼吸法と各氏が個性豊かな

## 随想

謙虚さをもたなくちゃ。

熊谷東 清水 登

田んぼの草取り中に思いついたことがある。田の草はトラクターで耕して退治する。しかし、どうしても、くろ(畔)のそばに、幅5cm程度が帯状に残ってしまうのだ。その草を長さ数百メートルにわたってスコップで掘り返し、根こそぎ取る。重労働だ。ふと、隣の田を見ると、トラクターにつけた鋤で土をひっくり返し、草を根こそぎ取っていた。跡に、幅20cm位、深さ15cm位の溝ができていた。鋤を草取りにも使うとは、よく考えたものだ、と感心した。

話をされた。  
 ☆新会員挨拶  
 六名が出席された。持田氏が代表して教員生活で受けた恩と新会員になった決意を述べられた。  
 (文責 神谷為義)



## 毎日が勉強です

熊谷中央 加松 浩

県庁で、県内小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒や保護者の方々、教職員の方々、県民の皆様から様々な相談を受けています。

県内在住八十三歳、男性からの電話相談です。

\*\*\*

昨日、〇〇地方で大雨が降った。テレビを観ていたら、川の様子が映された。川の近くでヘルメットを被ったアナウンサーが絶叫していた。

『大変です。すごい勢いで、川が流れています。』

優秀な成績でテレビ局に入ったアナウンサーが叫んでいる。

日本の教育は、いったいどうなっているのか。

『川は流れる』のか。川は流れない。『水が流れる』のである。

正しいアナウンスは、『大変です。すごい勢いで、川の水が流れています。』である。

埼玉の出来事ではないが、埼玉

に住んでいるのでそちらに電話をした。この後、文部科学省に電話をする。

\*\*\*

とても、丁寧に説明をしていた頂きました。

男性は最後に、「ただし、『川の流れるように』という使い方は正しい。私は、美空ひばりのファンである。」と話された。

毎日が勉強です。

## 乃木神社を詣でて

熊谷西 山室 鐵夫

昨年五月、久し振りに乃木神社を詣でた。まだ東京に住んでいた頃、散歩がてら父にしばしば連れてこられた所である。

熊谷に疎開してからも父と上京の折り参拝した覚えもある。その時、父が「乃木さんは立派な方だったよ。何度かお会いしたことがあったが、まだ若造の私にも挨拶をし、優しく話しかけてくれた。」と言った言葉が今でも残っている。

乃木さんの一生は日本の近代化、明治天皇の時代と重なる。国内では西南戦争、日清日露の大国との戦争、相次ぐ戦乱の時代に将兵として前線で戦った。とりわけ日露



「桜 2021」

戦争後、多くの兵士を死なせたことに対する自責の念に苛まされ続けたという（ご自分の二人の息子も戦死）。そして、戦争による傷病者の生活再建に私財を費やし、いたわっている。明治四十年、学習院長に就任、昭和天皇の養育にも従事した。

乃木ご夫妻の殉死（明治天皇大喪の日）は世界を驚かせた。賛否両論があるが、古来の武士道を全うし、自身には謹厳、他者には思いやりに満ちた生涯であった。父が私を連れて度々訪れたのは単に軍神称揚の時代の故でなく、乃木さんの人柄を敬慕していたからだと思っている。

境内を一周し、資料館を見る僅かな時間だったが三組の結婚式が挙げられていた。若い方が何を願ったか知る由もないが、私は彼らの幸せと平和な世界を祈った。最後に御神木の楷の木を仰ぎ見て乃木坂へ向かった。

## 退職して一年

熊谷南 福田 好伸

退職して一年が過ぎた。現役で働いていた頃は退職してからの生活を心待ちにしていたこと、生活を変化することへ不安を抱いていたことなど、今にして思えば退職後の生活について真剣に考えていなかったな、と遅い反省をしている。

実際に退職後の生活が始まると、まず週三日間を勤務することに身体を馴染ませることになり時間を費やした。また、これまでより休みが二倍に増えたことで、仕事を言い訳に逃げることでできていた家の仕事の分担が増えることとなった。

長年の勤務が終わり、休みも増えたのだから、しばらくの間はのんびりして旅行などが楽しめたらいいなと思っていた。コロナ期間を除き、これまでも旅行には出かけていたが、季節的に旬な場所へ行くことは数えるほどであったと思う。せつかく時間ができたのだからと、季節を味わうことができな旅行をすることが一つの目標になった。昨年四月初旬は、桜が咲く会津若松城へ出かけた。（桜の花は微妙であったが。）また、季

節ではないが、平日を利用して錦帯橋、厳島神社などへ出かけることができた。しかし、家の片付けが私の大きな課題として残った。物置があるため自分と子供の荷物が放置されたままである。集積所へ通う日々がこれからも続く。

## 雑感

熊谷北 内田 一郎

定年退職後、初任者研修や技術・家庭科の教員として西部管内や北部の学校で十年間お世話になった。

授業で生徒は限られた時間や材料・環境の中で自らの目的を達成するために創意工夫しながら取り組んでいく。最近の生徒は生活の中で加工具の使用経験が極めて少なくなっていると感じた。工具の刃に恐怖を抱き、初めは極めて慎重に扱う。そこで加工の基礎を理解させる一つとして、示範の時に作業のポイントとなる見る方向を定め何度も示した。また、机間指導では緊張して無駄に力を入れ過ぎない事などの助言を加えた。男子生徒は作業に果敢に挑み取掛りが早い。女子生徒は説明や指示事項を慎重に受け止め、確実に作業するのでミスが少ない。また、小

規模校では幼少期から一緒に学んでいるためか、互いの状況も良く知っており、助け合う様子が度々見られた。

日本は風光明媚で四季折々の美しさに富む国である。しかし産業の元となる天然資源は輸入に頼らざるを得ない。それらを元に知恵と工夫で良い製品を創ることで経済が成り立っている。また、誠実に協働的な人が多い。限られた資源を無駄にせず、創意工夫してきた。これからもこの心がけは大切にしなければならぬ。「創意工夫」に関わる教科に携わることができて幸せだと感じている。

これからは、地域に残る文化財に刻まれた先人達の創意工夫について、たくさん学びたいと考えている。

## 渋沢栄一翁に導かれて

深谷北 河田 重三

この会報をご覧になっている方は多くは新一万円札の栄一翁に出会ったことと思います。平成三十一年四月九日に新札発行のニュースが流れ、その余韻が冷めぬ九月九日に大河ドラマ「青天を衝け」の発表がありました。渋沢栄一翁顕彰の三大悲願といわれる

映画・大河・お札のうち大きな二つが現実となる驚きと喜びに湧きました。

大学の卒論の調査で偶然に手にすることのできた「武州自慢鑑あにまぢからぞかし」藍玉力競あにまぢからぞかしの版木から、和紙に摺り起した瞬間を鮮明に記憶して見ます。翁が『雨夜譚あまがたり』で語った見立番付を縁に、故鳥塚恵和男先生が顕彰活動に誘ってくださいました。史跡巡りや銅像献花式、講演会等で多くの知見をいただいています。そして、三年前からは渋沢栄一記念館でお世話になっていました。

記念館には今、「一百万円札の人は何をしたの」「大河を見てファンになりました」「栄一さんを調べています」など日本全国から幅広い年齢層で来館者があります。故郷・血洗島村での学びや藍のこと、日本を経済的に豊かで強い国にする志、誰にでも親切丁寧に道理に従って接する心など資料解説を通してお話し、翁を知っていた多く機会を共有できると嬉しさが増してきます。しかし、お伝えしきれないこともあります。翁の業績の多さや九十一年間の時代背景の説明不足のためなのかも知れません。

翁が認めた「天意重夕陽 人間

貴晚晴」(てんいせきようをおもんじ にんげんばんせいをとうとぶ)の心境にはるか及ばない自分ですが、日々の学びを大切にしていこうと思っています。

## アフターコロナに想う

深谷北 黒田 智隆

コロナ禍が終わり、やっとコロナ禍前の、普段の生活が戻ってきた。私がお世話になっている大学(早いもので四年目になる)でも、学生の声に戻り、賑やかなランチカフェ、毎日、楽しいキャンパスライフを送っている。

しかし世の中では、毎日テレビや新聞報道で、裏金問題や物価の高騰、急激な円安など、枚挙にいとまがない。「日本の政治は、どうなってしまうのか。」と言う話もよく聞く。

また最近では、テレビでカスハラ(カスタマーハラスメント)なる特集を組んで、消費者の行きすぎる要求や暴力など、その対応に社会全体で取り組み始めた様子が報道されていた。

自分の好きなことだけ相手に押しつけて、過度な要求や攻撃など、それが社会全体に急激に広まっている様子が窺える。日本人の美德

とされる「品性」「品格」「遠慮」「慎ましき」等、そのかけらもない行為が増えていると思うのは、私だけだろうか。

この番組の中で、今は「お客様は神様です。」ではなく、「お客様は、なんですか。」と最後に問いかけていた。

どうして、こんな事になってしまったのだろうか？

新型コロナウイルスは、人間に恨みを持つ何者かが、人間社会を破壊・消滅するために、地球に送り込んだように、想えてならない。

## 節目として転換

深谷中 坂本 岳司

前回は、元号が「令和」に決まる前の「平成」最後の年に書かせていただきました。今回は、二十年ぶりの新札発行(七月三日一百万札に渋沢栄一翁)の年に書かせていただきます。二回とも大きな節目・転換の記念すべき年です。

ところで、令和六年は予期せぬ能登半島地震の発生で幕明けとなりました。めでたい新年の元日が混乱と不安で大変な節目・転換の日となってしまいました。被災された地域・家庭の皆様や学校関係の皆様の大変さを想像すると心が

痛みます。報道で何とか卒業式・入学式等ができたのを知ってホッとしております。一日も早い復興・復旧を願わずにはいられません。

学校関係の節目・転換では、「教員給与五十年ぶり増額」ということで、月額給与四%相当の「教職調整額」を十%以上に引き上げることが中教審の特別部会で提示されました。教員採用試験も五月実施になるようです。今後の動向を見守りたいものです。

そんな中、家庭菜園でジャガイモを植えました。野菜作りでは、日々の積み重ねや畑の準備等、節目・転換で頭と体を使うものです。そうそう、今年は、郵便料金の値上げがあるようです。年賀状はどうなるのでしょうか。これも身近な節目・転換なのかも知れません。

昭和・平成・令和と生きて七十四年、思えば、節目・転換の繰り返しの日々でした。今後も様々な

節目・転換に直面すると思えます。迷いながらも自分で



「桜 2012」



考え、前向きに対処していききたいものです。

## 小学校時代の

### 小さな感動に導かれて

寄居 丹羽 大恭

小学四年生のクラブの時間に、初めてラジオを作ったのを今でも覚えています。二石のトランジスタラジオのキットで、説明書通りに部品をハンダ付けすればよいだけのものですが、小学生の私にはすべてが新鮮でした。もちろんハンダごてを使うのも、ニッパもラジオペンチも初めてでした。震えながらのハンダ付けの仕上がりはガタガタで、後に成績を付ける立場で振り返ると、間違いなくCのレベルです。

電池をつなぎ、スイッチを入れたときは、その後何度も経験した合格発表のような緊張感でした。ドキドキしながらつまみを回すと、何の音もしません。まさに、人生初の不合格の宣告でした。

子供の頃から諦めのよい性分でしたが、なぜかその時はもう一度ハンダゴテを当て直して音が出てくれることに期待しました。恐る恐るスイッチを入れると、大きな音で愛川欽也さんの声が飛び出し

てきたのを覚えています。本当にうれしくて、カーラジオよろしく自転車のかごにも入れて持ち歩き、私のことですから友達に自慢して歩いたのだと思います。

中学生になるとテスターも手に入れ、学校の壊れたラジカセの修理を請け負う少年時代でした。

初めてのラジオづくりの感動が、後に技術の教員として生きていくきっかけになったのだと思うと、クラブの時間も悔れません。

自分も関わってきた誰かに、一生忘れられないような感動を与えられていたらうれしい限りです。

## 新入会員の声

### 新入会員挨拶にあたり

熊谷西 森田 昌孝

本年度より退職校長会に入会いたしました。校長在職中は、大変お世話になり、ありがとうございます。お世話になりました。お陰様で無事、職を全うすることが出来ました。四月からは、初任者の指導教員として、お世話になっております。新たな仕事で、今後とも頑張ってまいりたいと思えます。また、時間的にも少

し余裕が出来ましたので、様々なことに挑戦したいと思えます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

### 三十八年間の出会いに感謝

熊谷西 橋本 雅之

熊谷市立富士見中学校を三月に退職して、退職校長会に入会させていただきました。三十八年間の在職中は、多くの子どもたち、そして私を支えてくださった先生方に出会えたことに心から感謝を申し上げます。

現在は、埼玉大学と、総合教育センターに勤務しております。初めての勤務場所です戸惑いも多い毎日ですが、少しずつ慣れてきました。引き続きご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

### 出逢い、そして縁

熊谷東 今村 美己

退職校長会に入会させていただき、諸先輩方に感謝の気持ち伝えたいと思っていました。これまでに、いろいろな場面で助けていただき、たくさんお世話になりました。今日まで職務を全うすることができましたのは、皆様のおかげ

です。ありがとうございます。最近思うことは、出逢いとご縁に感謝、ということ。たくさんの方から多くのことを教えていただき、今があります。これからよろしく申し上げます。

### よろしくお願いいたします

熊谷西 小林 久

三月に熊谷市立大麻生中学を役職定年となり、退職校長会に入会させていただきました。在職中は、多くの皆様に支えられ、数々のご指導をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。本場にありがとうございました。

四月より熊谷市立妻沼西中学校の特別支援学級主任として、初心に戻り教育活動を行っています。戸惑う毎日ですが新たな刺激ももらっています。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

### 退職・そして第二のスタート

熊谷北 関根 達郎

定年延長スタートの年に役職定年を期に退職し、第二の人生をスタートしました。退職して気づく学校の役割や教育の重要性に改めて「校長職」の価値を感じることに

ができました。

四月から、すべてが一年生として、いろいろな方から学んでいます。失敗しながら、教えていただいたり、助けてもらったりしていると初任者の先生の気持ちが変わります。先輩の先生方、これからお世話になります。

### これからお願いいたします

熊谷北 植木 朱実

熊谷市立妻沼小学校、二年在校生をもって、校長職を退任いたしました。校長在任八年間の中、大里には六年間もお世話になりました。管理職として困った時、悩んだ時に、先輩の皆様にごだけ助けていただいたかわかりません。本当にありがとうございます。今の私があるのは皆様のおかげです。現在は、初任者指導教員として、熊谷市内四校を廻っています。今後ともご指導の程、お願いいたします。

### 皆様に感謝〜恩送り〜

熊谷東 長谷川 雅夫

三十八年前に教職の道に入り現在まで何とかやってこれたのは、諸先輩方の温かなご指導とご支援



「桜 2018」

のお陰である  
と感謝の気持ちで一杯です。  
定年が一年延長され  
ましたが、この一年間は「恩返し」として、皆様から頂戴した数々の教えと経験から学んだことを後輩の先生方にすべて伝えていきたいと考えています。現任校である三尻小学校の教職員と一緒に「今を全力で生き、未来を切り拓く三尻つ子の育成」に全力を注ぐ所存です。

### 決意を新たに

熊谷西 加藤 信

三月末日をもちまして、役職定年を迎え、退職校長会に入会させていただきます。よろしくお願ひいたします。

四月からは、再任用の異動で石原小学校の校長を拝命いたしました。担任や教頭で勤務経験があった前任校から、一度も勤務したことがない大規模校への異動でした。児童・保護者・地域のことが全く

わからず、ゼロからのスタートで、毎日格闘しております。重責を果たせるよう、頑張ります。

### 今後ともご指導

### よろしくお願ひいたします

深谷北 相川 至宏

新一万円札誕生の記念すべき今年度より退職校長会に入会させていただきます。

これまで多くの諸先輩方をはじめ、地域や保護者の皆様にご感謝申し上げます。

現在は、引き続き校長として明戸中学校に携わらせていただいています。これからも、立志と忠恕の深谷教育をとおして子どもたちのため全力で取り組みます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

### お世話になりました

深谷北 加藤 修

平成元年四月、県立上尾養護学校に新採用教員として赴任して以来、三十五年間に渡り教育職を勤めさせていただきました。今まで多くの方々に支えていただいたおかげで、普通退職の日を迎えるこ

とができました。ありがとうございます。

今後、未来を生きる子どもたちの豊かな学びと埼玉教育の発展をお祈りいたしますとともに、先生たちの健康と幸せを心から願ひいたします。

### 再始動

深谷中 柴崎 勇二

このたび、退職校長会の末席に控えさせていただくことになりました。今までお世話になってきた校長先生方の中で恐縮しきりで、自分自身何ができるかわかりませんが、よろしくお願ひいたします。私は、初の校長の「役職定年」となり、定年は一年後。現職は、教諭として中学校で働いております。勘が鈍っている身には少々ハードですが、やりがいのある毎日を送っております。

### よろしくお願ひいたします

深谷北 黒沢 みどり

この三月に深谷市立岡部小学校で役職定年を迎え、大里退職校長会に入会させていただきました。校長在職中は、先輩方をはじめ多くの方々に支えていただきました

たことに感謝申し上げます。

四月より藤沢小学校を本務校として、深谷市内四小学校で初任者指導教員として勤務しております。これまでの経験を生かして、微力ながら頑張りたいと思います。

よろしくお願いたしました

深谷北 持田 栄

幡羅中学校で役職定年を迎え、今年度より、退職校長会に入会させていただきました。

これまで、多くの方々に支えていただき、今日を迎えられたことに深く感謝を申し上げます。

四月より、校長として、深谷市立南中学校に勤務しております。家庭、地域との連携を大切にして家庭、地域とともに歩む学校を目指して、邁進してまいります。

今後ともご指導いただきますようお願いいたします。

よろしくお願いたしました

深谷中 高木 千津子

定年引き上げ後の職に迷いながら、役職定年という一つの節目を迎え、退職校長会に入会させていただきました。

今まで多くの先輩方をはじめ、

様々な方々に支えていただき、心から感謝申し上げます。

四月からは、深谷市立藤沢小学校に勤務しております。全ては子供たちのため、新たな気持ちで学校経営に邁進してまいります。今後ともご指導とお力添えの程よろしくお願いたします。

よろしくお願いたしました

深谷中 松澤 由美子

この四月より退職校長会の会員となりました。校長生活では、よき教職員に恵まれ充実した日々を送ることができました。この度の定年延長により、自分が何のために教員になったのかを初心に戻って考える機会を得て、「最後は英語を教えたい」という思いに至り、現在は英語専科の教員としてリスタートしています。退職校長会の皆様には今後、様々な面でお世話になることと思います。どうぞよろしくお願いたします。

節 目

深谷北 片桐 雅之

六十歳、この時をどのように迎えることになるのか想像もつきませんでした。校長として最後にな

るであろう一年を迎えようとしたその時、先輩から「校長としてどんな学校をつくりたいか、ではなく教師としてどんな子供を育てたいのか」と問われ、教師として原点に戻る大切さを教わりました。先輩の皆様を支えられ子供と共に育った教職生活、とても楽しかったです。これからは新会員としてまた皆様方にお世話になります。

感謝、そして新たな挑戦へ

寄居 関口 葉子

念願の教師となり、多くの方々との出会いやご指導のお陰で、校長としての節目を迎えることができ、感謝しております。過日、かつての教え子達が来訪し、労をねぎらってくれ、教師冥利に尽きると、しみじみ思いました。

現在、新天地で校長として勤務をしております。『全ては子供たちのために』を合言葉に、心新たに尽力してまいります。引き続き皆様方のご指導、ご鞭撻の程を、どうぞよろしくお願いたします。



叙 勲 者

秋の叙勲

熊谷班 田嶋 章 様

高齡者叙勲(班別、生年月日順)

熊谷班 島田 道郎 様

飛田 典保 様

高田 秋雄 様

深澤 昇雄 様

新井 宏昇 様

木島 孝宏 様

福島 秋安 様

高橋 信安 様

第二十五回春季親睦ゴルフ大会

令和六年六月十一日(火)、上里ゴルフ場に十七名の参加者が集まり春季大会を開催しました。

梅雨入り前の快晴、絶好のコンディションの下、ナイスショットに歓声が沸きました。

大会の結果は、次のとおりです。

・優 勝 小林 晃一

・準優勝 林 健次

・第三位 吉岡 克二

・ベスグロ 島崎 一雄

新ペリア方式でハンディキャップをつけて順位を決定しますので、どなたにも優勝のチャンスがあります。また、全員に賞品が用意されています。十一月の秋季大会に多くの皆様の参加をお待ちしています。(文責 小林晃一)



書



「李白の『廬山の瀑布を望む』より『飛流直下三千尺』

熊谷中央 鶴間 信好



「若い女性」

深谷北 蜂巢 栄

絵画



みんなの広場

園芸



「オープンガーデン」

深谷北 篠崎 正明

絵画



「別府沼 秋景」

(第55回熊谷市美術展 委嘱特別賞)

深谷北 風間 勲

イラスト

(R5:4:9)

「風の盆」

熊谷北 黒須 聖治



挿入画の「桜」について

絵画同好会の蜂須栄先生の作品です。「桜の花は花曇りの暖かな日より、抜けるような青い空を背景にしてこそ美しく輝く」とのメッセージが添えられています。

編集後記

多くの会員の皆様のご協力で、「おとさと」第五十七号を発行することができました。コロナ禍から一歩ずつ活動が始まっています。それぞれの立場でお考えいただいた感動を「随想」や「みんなの広場」に表現された作品に改めて教えられたり、心を打たれたりします。今後ともご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和6年度 広報部員

- 福島 裕 (熊谷北)
- 菊池 正彦 (深谷中)
- 秋元 敏行 (熊谷東)
- 新井 英和 (熊谷中央)
- 稲葉 俊昌 (熊谷西)
- 原口 明 (熊谷南)
- 内田 一郎 (熊谷北)
- 小柳 代資 (深谷北)
- 丹羽 隆大 (深谷南)
- 大羽 資恭 (寄居)

埼玉県退職校長会大里支部会報

(第五十七号)

発行 令和六年八月一日

発行者 支部長 植竹 豊

印刷所 株式会社 博文社

熊谷市本石一三〇六三

〇四八(五二)三〇六三